

C 学校訪問の着眼点

- a, 学校管理経営の改善
- (1) 教育計画 (2) 学校長の管理指導
 - (3) 環境構成 (4) 指導時間の確保
- b, 学力の充実
- (1) 教育課程 (2) 学習指導法
 - (3) 教育評価
- c, 生活指導の徹底
- (1) 道徳教育 (2) ホームルーム
 - (3) クラブ・生徒会活動
 - (4) 個人指導
 - (5) 校外指導
- d, 教職員資質の向上
- (1) 自己研修 (2) 校内研修
 - (3) 勤務態勢 (3) 研究会講習会等の実施と参加

D 所見

昭和31年度以来、年を重ねるにしたがって、この計画の趣旨が徹底し、指導管理運営の改善に努力が加えられ、学校教育の進歩向上に資した点は大きい。

運営の面において、多くの困難をとまなう総合高校の川俣高校においては、教職員の校内研修によって一般ならびに専門教科の教養を深め、指導面に刷新をはかり、須賀川二高、白河二高の各校においては夜間課程の生徒の学力向上と健康管理に努力し、岩瀬農高においては鏡石農場の機械化農業経営に、また双葉農高においては勤労青年教育を基盤としての農業科、家庭科の経営にそれぞれの特色がみられたのに対し、大規模な女子高校としての磐城女子高と男女共学の坂下高においては普通高校としての教育水準の向上にくふうがなされているを高く評価した。また、平盲ろう校の教員が身体不自由な児童・生徒に対して精魂をかたむけている指導技術と人間愛に徹した教育的な熱情には感銘深いものがあった。

施設・設備の整備については、不如意な教育予算のため如何ともなし得ないが、ある学校においては、やや力のだしおしみが認められた。また、生活の条件に恵まれない夜間高校生徒のために、明るい、こころよい環境のなかで学習ができるように、施設や照明等に一段のくふうがほしい。高校教育における最も大きな問題点は教育課程の編成である。生徒の進路や地域の実態に即応した教育課程のくみ方に意を用いるべきである。

次に、中・高校卒業生の農水産業方面の就職率は昭和24年度の40%から昭和33年度の22%に減じ、これに代って商工業が漸増している傾向であるので高校の教育内容の編成に意を用いるべきである。殊に農業科に依存している定時制分校の不振はここに原因があるように思われる。

総体的にみて、何れの学校においてもその特色に応じた努力がなされているのを認めることができた。

9 教科書の管理運営

A 教科書採択研究事業

a, 研究の目的

この教科書採択研究事業は、各教科書センターにおいて、それぞれの地域で使用するに適した教科書を、実際に選択する観点から、選定、採択の対象となるすべての教科書について、綿密周到な共同の比較研究を行い、その成果を教科書センターに備えつけることなどにより、その地域における教科書の選定、採択に際し有益な参考資料として利用されることを期し、もって教科書の適正な採択の遂行に資するものである。

b, 研究の対象

本年度の研究は、各センターについて小・中学校教科書のうち1種類とし下記のとおり研究を進めた。

センター名	学校種別	研究教科	センター名	学校種別	研究教科
福島	小	国語	田島	中	英語
保原	中	理科	会津若松	中	図工
二本松	小	社会	喜多方	中	保健
郡山	中	音楽	会津坂下	中	国語
須賀川	小	図工	平	中	家庭(5)
白河	中	数学	富岡	小	理科
石川	中	社会(甲)	相馬	小	算数
三春	中	職・家(2)			

c, 研究の進め方

研究参加者は、各教科書センターを中心とする出張所の指導にもとずき管内小・中学校教員が各種目ごと5名として依頼した。

この研究は常に研究参加者による綿密な共同研究および討議により行われ、適宜種々の研究討議のための会合をもつようにし、それが有機的に組立てられ、研究がまとめられるようにした。

d, 研究実施の時期

各出張所の指導により、各教科書センターごとに定めしたが、34年度4月はじめから7月末日までとし、採択の資料として利用できるようにした。

e, 研究結果の処理

研究結果は各種目ごとそれぞれ、4百字詰め原稿用紙50～100枚程度の報告書にまとめ、管内各小・中学校に配布するとともに、県教委に5部を提出し、そのうちより文部省へ各2部送付した。

f, 教科書研究についての反省

各教科書研究員は校務外の仕事として研究にあたったが、各教科書をこのように比較研究することはなかった。指導の上に参考になったとの声が多かった。しか